国立大学の予算の確保にご支援を（緊急アピール）

山形大学に対して国から交付される運営費交付金は、効率化（▲１％）などにより年々減少しており、平成１６年度の法人化以降約６億円削減されております。この間、本学では、外部資金の獲得や附属病院収入の増収、人件費や管理的経費の抑制などの経営努力を行いつつ、教育研究診療機能の高度化、学生支援の充実、地域貢献に取り組んでまいりました。

文部科学省の平成２３年度概算要求については、「要求額」として、６，２０６億円の減額を行い、これに「元気な日本復活特別枠」を活用した、８，６２８億円の要望額を合わせ、総額５兆８，３４８億円（対前年度２，４２２億円増）の要求・要望額となっております。

「特別枠」要望の中には、

◆無利子奨学金の大幅拡大や授業料免除枠の拡大
◆新成長戦略の実現に資する新たな教育研究プロジェクトの推進
◆国立大学附属病院の教育研究体制の充実強化
◆きめ細かな学生支援
◆若手研究者のチャレンジ機会の拡充や「研究費の複数年執行」を可能とするための「科学研究費補助金の改革」
◆施設の耐震化の推進

など国立大学に関係する多くの事項が含まれております。

「特別枠」要望については、国の予算の透明化・見える化を進め、国民の声を予算編成に反映させる試みとして、パブリック・コメント（９月２８日～１０月１９日）が実施されております。パブリック・コメントの結果は、平成２３年度の予算編成において、政策の優先順位づけの基礎資料とすることとされております。

つきましては、国立大学関係予算の確保に向けて、国民の皆様からのご意見をパブリック・コメントにお寄せいただくよう、ご協力をお願い申し上げます。

平成２２年１０月５日

国立大学法人山形大学
学長　結　城　章　夫

パブリック・コメントへ(リンク)　http://seisakucontest.kantei.go.jp/